



## 病院の概要

● 医師数（研修医を除く）297 名（うち指導医数 237 名）

● 研修医数 1 年目 40 名 2 年目 40 名

● 研修医の主な出身大学 秋田大学・岩手医科大学・大分大学・川崎医科大学・北里大学・杏林大学・群馬大学・埼玉医科大学・札幌医科大学・産業医科大学・島根大学・聖マリアンナ医科大学・帝京大学・東京女子医科大学・東邦大学・鳥取大学・日本医科大学・弘前大学・山梨大学・横浜市立大学・琉球大学・獨協医科大学

● 診療科 糖尿病内分泌・血液内科 呼吸器・アレルギー内科 消化器内科  
循環器内科 腎臓内科 脳神経内科 小児科 こころの診療科 皮膚科 総合診療科  
外科 第一整形外科 第二整形外科 心臓血管外科 呼吸器外科 小児外科 産科婦人科  
眼科 耳鼻咽喉科 脳神経外科 泌尿器科 形成外科 乳腺科 救急医療科（救命救急センター）  
麻酔科 リハビリテーション科 集中治療科 子どものこころ診療センター  
遺伝カウンセリングセンター リプロダクションセンター 臨床検査部 放射線科 病理診断科

● 1 日平均外来患者数 1854.5 名 ● 1 日平均入院患者数 714.6 名

● 主な認定施設 日本医療機能評価機構認定病院、三次救急指定病院、災害拠点病院（埼玉 DMAT 指定病院）、地域がん診療連携拠点病院 周産期母子医療センター



## 研修プログラムの特色

- (1) 厚生労働省が掲げる研修理念を実現するもので、医師としての診療能力を幅広く身につけるために、プライマリケア習得を各科カリキュラムの基本としています。
- (2) 必修科目履修では、同省が定める到達目標の確実な達成を図っています。希望履修選択期間には、標榜する診療科のどれをも選択できるとともに、同時期に獨協医科大学病院で標榜する診療科も選択研修できます。また、小児科、産科婦人科や外科系に特化したプログラムも設けています。
- (3) 専門・高度医療を実践するためのミニワーク・カリキュラムを重層的に備えています。
- (4) 臨床研究の基礎トレーニングができます。
- (5) 医師としてのキャリア構築につながります。



## プログラム 例 一般プログラム（定員 40 名）

|        |           |            |           |            |             |          |           |
|--------|-----------|------------|-----------|------------|-------------|----------|-----------|
| 1 年目 ▶ | 内科 (24 週) |            |           |            | 救急部門 (12 週) | 外科 (4 週) | 麻酔科 (8 週) |
| 2 年目 ▶ | 小児科 (4 週) | 産婦人科 (4 週) | 精神科 (4 週) | 地域医療 (4 週) | 希望選択 (32 週) |          |           |

※ローテーションは各自によって異なります。詳細はお問い合わせください。

※その他 小児科プログラム（定員：2 人） 産科婦人科プログラム（定員：2 人） 外科系プログラム（定員：6 人）



## 研修医の処遇

- 給 与 ▶ 月額 34 万円（一律支給）※月額には時間外手当 8 万円分を含む
- 諸 手 当 ▶ 当直手当
- 保 険 ▶ 日本私立学校振興・共済事業団（公的医療保険 / 公的年金）、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険（施設）加入
- 勤務時間 ▶ 獨協医科大学埼玉医療センター就業規則による。
- 当 直 ▶ あり（4 回程度 / 月）
- 休 診 日 ▶ 第 3 土曜日、日曜日、国民の祝祭日、開学記念日、年末年始
- 休 暇 ▶ 有給休暇（1 年次：15 日間、2 年次 17 日間）  
※年 5 日間のフレックス休暇を含む
- 宿 舎 ▶ あり（有料）
- そ の 他 ▶ ・学会、研究会への参加費用支給 ・定期健康診断  
・採用時健康診断 ・各種予防接種 他

## 主な臨床研修協力病院 協力施設



- ・獨協医科大学病院
- ・獨協医科大学日光医療センター
- ・春日部厚生病院
- ・久喜すずのき医院
- ・越谷市立病院
- ・越谷市夜間急患診療所
- ・越谷ハートフルクリニック
- ・順天堂大学医学部附属 順天堂越谷病院
- ・新越谷病院
- ・東埼玉総合病院
- ・北辰病院



## 当院の魅力

### 当院で充実した研修を！

当院は交差する二つの路線、JR 南越谷駅と東武新越谷駅から徒歩 3 分程の場所に位置し、交通の便が極めて良いところです。病床数は病院全体で 923 床と県内最大規模で、手術室も 22 室あり、最先端の機器を導入しています。県内外から多くの患者さんが訪れ、大学病院でありながら地域医療を支える役割も担う、埼玉県東部の中核病院です。

研修プログラムは、一般プログラムの他に小児科・産科婦人科・外科系のプログラムを備えています。希望履修科目選択期間では、当院および獨協医科大学病院が標榜するすべての診療科・部のどれをも選択することができ、ローテーションの順番も、できる限り皆さんの希望に添えるよう調整しています。将来進みたい診療領域が決まっていなくても、既に決まっている方でも、研修期間でしか経験できない、あらゆる科目の知識に触れることができるプログラムです。

研修医の出身大学は様々ですが、出身や年齢にかかわらず、和気あいあいと語り合い、切磋琢磨しています。オン・オフをうまく切り替えながら、のびのびと研修している研修医が多いのも、当院の特徴です。



### 研修責任者から message

当センターは、埼玉県東部地区に位置し、180 万人の基幹病院として、地域医療の重要な役割を担っております。

2017 年 11 月に病棟を増設し、病床数は 923 床、手術室も 22 室になり、さらに救急医療ならびに周産期母子医療センターが充実し、研修病院として相応しいセンターです。臨床研修センターは増設した棟にあり、快適な環境で研修を行なっています。

2017 年・2018 年のマッチングでは 100 名を超えるご応募をいただきました。各診療科の先生方の丁寧な指導、充実したカンファレンスの開催を実施しており、診療科と研修医の先生方からの要望などに応じて Up to Date な研修に心がけております。また他大学の卒業生も多くいらっしゃいます。

センターの見学は大歓迎です。是非、あなたも獨協医科大学埼玉医療センターで卒後研修を行ってみませんか。



臨床研修センター長  
上田 善彦



### 先輩研修医から message

初めまして。獨協医科大学埼玉医療センター 研修医 1 年の廣川です。

私がこの病院を選んだ理由としては、923 床という大病院でありながら、市中病院で経験するようなありふれた疾患から大学病院でしか管理できない高度な集中治療を必要とする疾患など様々な症例を経験できることです。

指導医の先生方もとても手厚く指導して下さい、研修医に入院中の患者様の管理や外来での問診、検査に必要な手技など様々なことを経験させていただき、非常に勉強になっています。また様々な大学出身の同期研修医が 40 人いるので、困ったことがあればいつでも相談に乗ってくれるのもこの病院の良いところです。

興味がある方は是非一度病院見学に来てみてください。研修医一同楽しみにお待ちしております。



2019 年入職研修医  
廣川 尚慶



### 女性医師支援コーナー

当院では女性医師支援センターを設置しており、女性医師が働きやすい環境づくりを目指しています。学内外の女性医師、研究者同士との情報交換を通し、医師としてのキャリア継続に役立つよう努め、病院全体における男女共同参画の啓発活動にも力を注いでいます。隣接した保育所もあり、延長保育や、週 3 回 24 時間保育も実施しているので、育児をしながらでも安心して研修できます。

他に、初期研修修了後には育児短時間勤務制度が利用できます。専任教員やレジデント（後期研修）の身分を保有したまま、週 20 時間の短時間勤務が申請でき、各医局での柔軟な勤務が可能となります。また、保育所利用などを含め、勤務継続のための相談や、短時間勤務経験者からアドバイスをもらいたい場合、女性医師支援センターが窓口となり、先輩医師に取りつぐことも可能です。（女性医師支援センターサイト：<http://www2.dokkyomed.ac.jp/jyouseishi-k/>）



### 連絡先 獨協医科大学埼玉医療センター

臨床研修センター事務室

〒343-8555 越谷市南越谷 2-1-50

TEL ▶ 048-965-7842 (直通) FAX ▶ 048-965-9356

E-mail ▶ k-kenshu@dokkyomed.ac.jp

URL ▶ <http://www2.dokkyomed.ac.jp/dep-k/kenshu/>

アクセス ▶ JR 武蔵野線南越谷駅、東武スカイツリーライン新越谷駅から徒歩 3 分



### 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学のお申込み手順
  - 1) 左記 URL よりサイトへアクセス
  - 2) メールフォームにてお申込み※見学は随時受け付けております。詳細はお問い合わせください。
- Facebook ページ : <https://www.facebook.com/dokkyo.k.kenshu>